計画をめぐる現状と動向

資料１

【社会構造の変化】

１　人口減少（少子化の進行(未婚化・晩婚化)。死亡率の上昇）

２　高齢化の進行（高齢者割合の増。高齢者単身・夫婦のみ世帯の増加。要支援・要介護認定者の増。認知症の増）

３　家族機能の低下や伝統的な地域支え合い機能の低下

【支援の多様化・複雑化】

４　介護・福祉サービス従事者の不足

５　地域福祉活動やボランティア活動を支える担い手の養成

６　経済の不安定化に伴う生活困窮者等(子どもの貧困等を含む)の増

７　既存の制度では対応できない生活課題(孤立、ひきこもり等)や複合的な課題を抱える人たちの顕在化

【福祉を取巻く環境の変化】

８　高齢者、障害(児)者、子ども等の権利擁護の推進

９　子ども・子育て支援新制度などによる子育て環境の整備

10　障害者の地域移行、発達障害・難病・医療的ケア児等多様な障害への支援の拡充

11　地域共生社会の実現に向けての取組(「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部の設置(厚労省)(H28.7.15))

【災害対応】

12　東日本大震災や熊本地震等を踏まえた互助の再構築

※下　線は、現計画からの変更箇所